

シュタイナー教育基礎講座講義内容

- ① シュタイナー教育が考える人間観と成長の7年周期
シュタイナー教育の根本ともいえる人間の捉え方についてお話しします。
- ② 第一7年期
0歳から7歳までの子供の特徴とそこへの働きかけについてお話しします。
- ③ 四つの気質
子どもを見る見方として大切な「気質」についてお話しします。
- ④ 授業例1
シュタイナー学校で行われる授業の例を取り上げ、方法と考え方を学びます。
- ⑤ 第二7年期
7歳から14歳までの子供の特徴とそこへの働きかけについてお話しします。
- ⑥ エポック授業と8年間担任制
シュタイナー教育で特徴的な授業方法であるエポックと8年間担任制についてその意義についてお話しします。
- ⑦ 体験から概念へ
授業を行う上で大切な点や進め方について学びます。
- ⑧ 授業例2
シュタイナー学校で行われる授業の例を取り上げ、方法と考え方を学びます。
- ⑨ 12感覚
シュタイナー教育では人間の感覚が12種類あるとしています。それらはどのようなものであり、それを育てることがどのように大切なのでしょうか。
- ⑩ 畏敬の念について
シュタイナー教育になくてはならない「畏敬の念」の大切さを学びます。
- ⑪ 第三7年期
14歳から21歳までの青年の特徴とそこへの働きかけについてお話しします。

⑫ 授業例 3

高等部にあたる学年の授業の例を取り上げ、方法と考え方を学びます。

⑬ 行事と祝祭

シュタイナー学校での行事や祝祭の種類と意義についてお話しします。

⑭ バイオグラフィーについて

7 年期は学齢期だけではなく、一生に関係することです。シュタイナー教育が人間の一生に目を向けていることを概観します。

⑮ ルドルフ＝シュタイナーと人智学

シュタイナー教育の創始者であるルドルフ＝シュタイナーとその思想全般に関して概説します。